

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜愛玩動物看護科＞

科目名	POP制作	
担当教員の実務経験	・企業内広報部において、マーケティングリサーチ・分析・企画・広告・宣伝活動ならびに広報広告物およびWEBページの制作の経験がある。 ・商品販売（ならびにアドバイザーとして）の経験がある。 ・ペットショップにて実務経験がある。 ・動物看護師としての実務経験がある。	
対象学生	愛玩動物看護科2年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	院内での情報発信を目的としてPOPを制作する。	
授業の到達目標	成果につながるPOPを完成させる。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	他で開催されている同様イベントにも興味をもってみる。	
使用教科書・教材・参考書	前年度資料	
授業上の注意点	満足とリスク管理は妥協せずに追求すること。	
授業計画（内容）		コマ数
成果につながるPOPとは ・伝えたいこと ・情報の取捨選択 ・見る側の心を理解する		1
制作演習 ① 春の寄生虫予防 ② 混合ワクチン		14
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

<愛玩動物看護科>

科目名	グルーミング実習Ⅱ	
担当教員の実務経験	① ペットショップにてトリマーの実務経験がある ② 動物病院にてトリマーの経験がある	
対象学生	愛玩動物看護科2年生	
授業時間数・単位数	30	コマ ・ 2 単位
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	より安全に、かつスピーディーに作業が出来るよう、グルーミング技術の向上を図る。	
授業の到達目標	1人で一通りの作業ができる。また、多頭数こなすことができる。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	担当犬のカルテを事前にチェックする。 実習終了後はグルーミング記録を記入し提出する。	
使用教科書・教材・参考書	グルーミングの基礎	
授業上の注意点	モデル犬の予約状況により、内容が変更する場合がある。	
授業計画（内容）		コマ数
1年次の復習を行い、作業の時間短縮をすることができる。個人の苦手分野の克服。		5
中型犬のグルーミングを1人で1頭仕上げる。 サイズの大きい犬を1人で扱うことでさらなる保定法・犬の扱い方を学ぶことができる。		5
大型犬のグルーミングを2人で1頭仕上げる 作業の効率UPを考え2人で協力し実習を行うことができる。		5
クリッパーワークの習得（ボディ・顔バリ・足バリ）		5
グルーミング犬種を多頭数、仕上げるることができる。		5
小型犬のトリミングを2人で1頭、仕上げるることができる。		5
合 計		30
授業単位数		2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	ドッググッズⅡ	
対象学生	愛玩動物看護科 2年生	
授業時間数・単位数	15コマ ・ 1 単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	愛犬と飼い主さんが喜んでくれるよう、心を込めて身の回りで使用するグッズを制作する。	
授業の到達目標	安全安心なグッズにオリジナリティを加えて制作できる。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点		
授業計画（内容）	コマ数	
	フェルトボール作り方説明と師範	1
実習	リボンA制作	2
	革コードとビーズを使用したネックレスの作り方説明と師範	1
実習	革コードとビーズを使用したネックレス	2
	革コードとビーズを使用した飼い主用ブレスレットの作り方説明と師範	1
実習	革コードとビーズを使用した飼い主用ブレスレット	2
	アウトドアコードを使用したリードの作り方説明と師範	1
実習	アウトドアコードを使用したリード	2
	アウトドアコードを使用した首輪の作り方説明と師範	1
実習	アウトドアコードを使用した首輪	1
実習	アウトドアコードを使用したキーホルダー作り	1
合計		15
	授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

<愛玩動物看護科>

科目名	ペットビジネス総合演習Ⅱ／販売・経営学	
担当教員の実務経験	・企業内広報部において、マーケティングリサーチ・分析・企画・広告・宣伝活動ならびに広報広告物およびWEBページの制作の経験がある。 ・事務職において受付業務や銀行業務等の経験がある。 ・商品販売（ならびにアドバイザーとして）の経験がある。 ・ペットショップにて実務経験がある。 ・動物看護師としての実務経験がある。	
対象学生	愛玩動物看護科2年生	
授業時間数・単位数	30コマ	2単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	マーケティング・販売学を応用し、ワークショップならびに学園祭の出店を計画する。利益追求、消費者心理、サービスから広告戦略など多方面から分析し、企画した“ビジネス”の成功を目指す。 具体的な企画・運営を通して企画力・実行力・協調性など社会人としての基礎力と人間力をつける。「最終的な目的達成」のために必要なプロセスとプランニングに時間軸を敷き、実際のイベント企画・運営を通して顧客満足度からリスク管理までを体系的に学ぶ。	
授業の到達目標	① 多方面から顧客心理に寄り添った店舗企画ができる。 ② イベントの企画から運営までを実際に体験しノウハウを身につける。 グループワークで各自が役割に対する責務を果たすことによりチーム全体の力を発揮することができることを体得し、グループの中での個の在り方を認識する。自分達の考えたイベントが来場者にどう評価されたかを調査・分析し客観的評価ができる。 ひとつのビジネスを成功させるためには、金銭的利益を出すという数字計算上のことでだけではなく、利益（満足）を生み出すことができる状態を作ることが最も重要である。以上のことから、コストの削減、価格の吊り上げで全てを解決するのではなく、顧客心理に寄り添うこと、客観的観点をもつこと、そして、ビジネスチームとして同じ目標に向かい工夫を凝らすことを重要視する。この科目を通して“経営者”としてそれらを十分に考慮したビジネス計画ができる力が身につくとともに、人間力の強化にもつながる。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	他で開催されている同様イベントにも興味をもってみる。	
使用教科書・教材・参考書	前年度資料	
授業上の注意点	満足とリスク管理は妥協せずに追求すること。	
授業計画（内容）		
イベント（ビジネス）成功の定義、最高のパフォーマンスに必要な要素		コマ数 1
チームのモチベーションを上げる要素と工夫		
プランニングと運営について考える		

店舗企画会議（内容、人材配置、予算）	1
イベント企画会議（内容、人材配置、予算）	1
店舗企画※学園祭・ワークショップ （コンセプト、商品、POP制作、空間プロデュース） （制作・仕入れ／グループワーク） （リスクマネジメント） （運営シミュレーションと分析） （広報・宣伝活動） （運営管理※当日）	27
合計	30
授業単位数	2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

<愛玩動物看護科>

科目名	ペットマッサージⅠ	
担当教員の実務経験	リラクゼーションサロン　オーナー ペットマッサージ、マッサージのスペシャリストとして各方面で活動。	
対象学生	愛玩動物看護科　2年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講　義〔　○　〕・　演　習〔　○　〕・実　習〔　　〕	
授業の概要	ホリスティック療法の基礎理論を理解し、手技を身につける。	
授業の到達目標	ホリスティック療法が注目されるようになった理由を根本的に理解する。 ペットマッサージが注目される理由と東洋医学理論を理解し、目的別のペットマ ッサージを行うことができる。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業 態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D （40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	手技の習得に努めること。自主練習の際は禁止事項に注意してください。	
使用教科書・教材・参考書	ペットマッサージ　アカデミックコース教本 ホリスティックケア・カウンセラー養成講座テキスト、DVD	
授業上の注意点	課題提出（動画）期限を守ること。	
授業計画（内容）		コマ数
ペットマッサージ基礎理論の習得		
代替療法が注目される意味		15
基礎解剖学（骨格系、筋系）		
ペットマッサージ概論（東洋医学論／経絡・ツボ・気血水・平の思想・リンパ）		
ペットマッサージの基本（注意点、基本テクニック）		
リンパの基本マッサージ（4大リンパ節）		
肩こり、びわの葉温灸、元気アップ		
ダイエット、ストレス解消、老化防止／免疫力向上		
耳のトラブル、皮膚のトラブル、目のトラブル、快便		
合計		
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	リハビリテーションⅠ	
担当教員の実務経験	動物看護師、理学療法士	
対象学生	愛玩動物看護科2年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	動物理学療法目的と意義を理解し、手技を習得する。	
授業の到達目標	<u>動物理学療法</u> 1) 動物理学療法目的と意義について理解する 2) 代表的な理学療法の原理と手技について理解する	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻 動物理学リハビリ国際協会認定プログラム	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
動物の機能回復 1. 基本的な活動性と動作能力 2. 活動・運動能力に対するアセスメント 3. 活動・運動能力に対する援助方法 4. 対象動物の体位変換 5. リハビリテーションと動物の理学療法 6. 代表的な理学療法の原理と手技 リハビリテーションとは？/骨学/関節学/筋学/神経学/触知実習/徒手療法/運動療法/関節可動域/エンドフィール/評価/急性および慢性炎症 一般的な整形疾患/神経疾患/加熱/冷却/物理療法/モダリティ/可動域運動/ストレッチ/支持基底面/固有受容位置感覚/各犬の特徴/運動整理学/運動療法/陸上療法/プログラムの組み立て/ケーススタディ		15
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	公衆衛生学Ⅰ	
担当教員の実務経験	獣医師	
対象学生	愛玩動物看護科 2年生	
授業時間数・単位数	15コマ ・ 1単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 []	
授業の概要	環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。	
授業の到達目標	公衆衛生の概要 1) 公衆衛生の目的について理解する 2) 公衆衛生行政について理解する 3) 国民衛生の動向について理解する 4) One Healthと獣医療の関係について理解する <u>疫学と疾病予防</u> 1) 感染の成立について理解する 2) 疾病・健康障害の発生要因について理解する 3) 疫学調査法について理解する 4) 予防疫学について理解する 5) 人獣共通感染症とその対策について理解する 6) 狂犬病予防について理解する	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
愛玩動物看護師と公衆衛生 1. 公衆衛生の目的 2. 公衆衛生行政と獣医師 3. 国民衛生の動向 4. 愛玩動物看護師と公衆衛生学		2
疫学と疾病予防 1. 疫学とは 2. 健康障害の発生要因 3. 疫学の指標 4. 疫学研究方法 5. 感染と流行 6. 感染症対策 7. 非感染症の疫学 8. サーベイランス		3
人獣共通感染症（動物由来感染症） 1. 病原体等に関する安全対策 2. ウイルス、細菌、リケッチア、真菌		10

3. 寄生虫	
4. 新興感染症と再興感染症	
5. 狂犬病予防の重要性	
合計	15
授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	公衆衛生学Ⅱ	
担当教員の実務経験	獣医師、動物看護師	
対象学生	愛玩動物看護科2年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 []	
授業の概要	環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。	
授業の到達目標	1. 公衆衛生の概要 1) 公衆衛生の目的について理解する 2) 公衆衛生行政について理解する 3) 国民衛生の動向について理解する 4) One Healthと獣医療の関係について理解する 2. 疫学と疾病予防 1) 感染の成立について理解する 2) 疾病・健康障害の発生要因について理解する 3) 疫学調査法について理解する 4) 予防疫学について理解する 5) 人獣共通感染症とその対策について理解する 6) 狂犬病予防について理解する 3. 環境衛生 1) 環境衛生について、歴史、背景、現在の問題点について理解する 2) 化学物質によってもたらされる健康障害について理解する 3) 放射線による汚染と障害について理解する 4) 衛生動物による人や動物への被害と対策について理解する 5) 動物の咬傷による人への健康障害について理解する 6) 廃棄物の取扱いについて理解する 4. 食品衛生 1) 食品衛生と食中毒について理解する 2) 動物性食品の衛生について理解する 3) 食品衛生管理手法（HACCPなど）について理解する	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻	
授業上の注意点	公衆衛生学Ⅰの「人獣共通感染症」を復習しておくこと。	
授業計画（内容）		コマ数
食品衛生 1. 食品衛生法 2. 食中毒 3. 食品とアレルギー 4. 動物性食品の衛生 5. 食品の保存方法		7

6. 食品安全行政の動向	
7. 食品由来の健康危害防止	
環境衛生 1. 環境衛生とは 2. 地球規模の環境問題 3. 水の衛生 4. 生活環境問題 5. 廃棄物問題 6. 衛生動物	7
1 級愛玩動物飼養管理士試験対策、模擬試験	1
合計	15
授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	校外研修Ⅱ	
対象学生	愛玩動物看護科 2年生	
授業時間数・単位数	15 コマ	・ 1 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	校外施設および外部イベントへの参加や見学を行う	
授業の到達目標	業界全体への理解を深める	
成績評価方法と基準		
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点	状況により実施を判断します。 通常の実施が出来ない場合には代替学習への切り替えを行います。	
授業計画（内容）		コマ数
オリエンテーション		5
参加・見学		8
レポート提出		2
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	就職実務Ⅱ	
対象学生	愛玩動物看護科 2年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	就職活動に必要な書類の準備、書き方の指導を行う。 インターンシップのアポイント、面接の指導を行う。	
授業の到達目標	希望就職先の内定	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	志望動機等の添削指導は一度では終わらない場合があります。各自授業時間外にも考えて修正する努力をしてください。	
使用教科書・教材・参考書	動物系専門学校生・トリミングスクール生のための コミュニケーション・マナー&キャリア・ガイダンス（インターズー）	
授業上の注意点	提出書類の期日に注意を払うこと。	
授業計画（内容）		コマ数
就職活動の進め方		1
志望動機		3
履歴書の書き方		3
企業研究		2
インターンシップについて		1
インターンシップノートの準備		2
アポイントの取り方		1
面接指導		2
合 計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜愛玩動物看護科＞

科目名	商品研究Ⅰ	
担当教員の実務経験	服飾専門学校教員、オーダーメイド制作受注の経験がある	
対象学生	愛玩動物看護科２年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	オリジナルアイテムの制作と研究	
授業の到達目標	普段の生活や介護・看護の目線で商品を研究・企画する	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、 A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。 課題報告問題（昨年度、去年度）をくまなくチェックすること。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点	課題の提出期限を守ること。	
授業計画（内容）		コマ数
商品研究・企画		15
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	適正飼養指導論Ⅱ	
担当教員の実務経験	レスキュー隊、動物愛護推進委員	
対象学生	愛玩動物看護科 2年生	
授業時間数・単位数	15コマ ・ 1単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	愛玩動物の効用や飼養目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。	
授業の到達目標	<u>災害危機管理と支援</u> 1) 災害時の同行避難の重要性を理解し、説明できる 2) 愛玩動物とその飼い主の災害の備えについて理解し、説明できる 3) 災害獣医療の概要と災害時における愛玩動物看護師の役割について理解する <u>動物愛護管理行政</u> 1) 公衆衛生業務における愛玩動物看護師の役割について理解する 2) 動物愛護週間の役割と実施状況について理解する 3) 犬・猫の引取り及び負傷動物などの収容並びに処分の状況について理解する 4) 動物による事故の内容と報告状況について理解する 5) 動物愛護管理センターの活動及び動物愛護推進員・協議会の役割について理解する 6) 動物取扱責任者の選任条件と役割について理解する	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
災害危機管理と支援 1. 災害時におけるペットの救護対策ガイドライン 2. 同行避難 3. 災害対応における基本的な視点 4. 平常時および災害時の飼い主の備え 5. 動物看護師の平常時における役割 6. 動物看護師の災害時における役割		10
動物愛護管理行政 1. 動物愛護管理行政とは 2. 適正飼養の普及啓発 3. 犬と猫の引き取りと負傷動物の収容 4. 動物取扱業者の規制		5
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

<ペットビジネス科>

科目名	動物愛護・適正飼養実習Ⅱ	
担当教員の実務経験	① レスキュー隊 ② 秋田県動物愛護推進協議会委員を務める ② 動物病院にて犬舎管理の実務経験がある ③ ペットショップにて生体管理の実務経験がある	
対象学生	愛玩動物看護科 2年生	
授業時間数・単位数	30 コマ ・ 2 単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	① 動物に対しての観察力を身につける。又、摂取カロリーや栄養バランス、安全な散歩のテクニックなどを学ぶ。健康管理面では投薬や保定などの技術の習得も目標とする。 ② 健康管理、飼い主へのアドバイスに必要な知識の習得を目指す。 ③ グループ作業の実施により、チームで働く上での心構えや協調性を養う。又、服装、及び時間厳守など社会人として最低限必要を守る意識を育てる。 ④ 避難所等災害時の飼い主への支援を説明できる。	
授業の到達目標	動物愛護・適正飼養実習Ⅰで身につけた知識や技術をさらに向上できるよう、1年生に指導しながら飼養管理方法を考える。正しい知識や技術を伝授し、より良い飼育環境作りに務める。動物の命に責任を持つ。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	命は24時間365日。休日も当番があります（月1～2回）。	
使用教科書・教材・参考書	動物看護実習テキスト	
授業上の注意点	少しでも異常が認められる場合は速やかに報告してください。	
授業計画（内容）		コマ数
情報の共有から質の高い飼育を目指す		3
個人のスキルアップから質の高い飼育を目指す		3
観察力アップから質の高い飼育を目指す		3
自己評価から質の高い飼育を目指す		3
危機管理を実践に活かし質の高い飼育を目指す		3
入院管理を想定し質の高い飼育を目指す		3
動物に携わるものとしての倫理観を備えた質の高い飼育を目指す		3
動物飼育実習の総括		3
ペットセーバー（救命・災害救助）について理解する		6
合 計		30
授業単位数		2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜愛玩動物看護科＞

科目名	動物愛護活動Ⅱ	
担当教員の実務経験	秋田県動物愛護推進協議会委員	
対象学生	愛玩動物看護科 2年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	動物愛護活動に取り組む。 秋田県動物愛護推進計画を理解する。	
授業の到達目標	動物愛護活動に貢献する。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験・レポート）、出席率、提出物ならびに 日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点 以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	資料配布	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
動物愛護に関わるボランティアを計画し実行する		14
レポート		1
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物栄養学Ⅱ	
担当教員の実務経験	動物看護師、ペット栄養管理士	
対象学生	愛玩動物看護科2年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法を修得する。	
授業の到達目標	<u>疾患と栄養</u> 1) さまざまな疾患時の食事療法について理解する 2) 療法食の特徴や効果を理解し、飼い主に説明できる <u>強制給餌と経管・静脈栄養法</u> 1) 強制給餌の方法と注意点について理解する 2) 経管栄養法の種類（経鼻、食道、胃瘻チューブなど）と特徴、方法について理解する 3) 静脈栄養法の種類（TPN、PPN）と特徴、方法について理解する 4) チューブやカテーテルの設置手順と管理上の注意点について理解する	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
疾患と栄養の関係 1. 慢性腎臓病の栄養管理 2. 尿石症の栄養管理 3. 心血管系疾患の栄養管理 4. 消化器疾患の栄養管理 5. 肝疾患の栄養管理 6. 糖尿病の栄養管理 7. 皮膚疾患・アレルギー疾患の栄養管理		10
栄養管理 1. 非経腸栄養法の必要な疾患と実施の方法 2. 経口栄養剤の成分と利用法 3. 強制給餌法 4. 経胃栄養剤と経腸栄養剤の成分・利用法 5. 設置したカテーテル／チューブの維持管理方法 6. 食事管理失宜による症状および対応方法		5
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物外科看護学 I	
担当教員の実務経験	獣医師、動物看護師	
対象学生	愛玩動物看護科2年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。	
授業の到達目標	<u>外傷、創傷管理</u> 1) 創傷の種類と治癒過程と管理方法について理解する 2) ドレーンの装着と管理法について理解する 3) 止血法について理解する 4) 骨折・脱臼の管理について理解する <u>救急救命</u> 1) エマージェンシーの原因と病態について理解する 2) 一次救命措置（BLS）について理解する 3) 二次救命措置（ALS）について理解する 4) 気管挿管と心肺蘇生の方法について理解する	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
救命救急法 1. 生命徴候のアセスメント 2. 動物の呼吸を楽にする姿勢 3. 循環管理 4. 保 温 5. 止血法 6. 気管内挿管 7. 心肺蘇生処置 8. その他の救急救命処置に関わる状態		15
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物外科看護学実習Ⅰ	
担当教員の実務経験	動物看護師	
対象学生	愛玩動物看護科 2年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	
授業の到達目標	<u>術前準備</u> 1) 手術器具の準備、滅菌ができる 2) 手術衣、タオル・ドレープ類を準備し滅菌できる 3) 手術に必要な機器、器械台を準備できる 4) 手術台への動物の固定、術野の消毒ができる 5) 手洗い、手術衣や手袋の装着ができる	
成績評価方法と基準	提出物、実習評価	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	動物看護実習テキスト	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
手術関連業務		5
術前準備		10
合計		15
授業単位数	1	

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物看護関連法規	
担当教員の実務経験	動物看護師	
対象学生	愛玩動物看護科2年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 []	
授業の概要	動物看護に関連する基本的な法規について学び、社会における愛玩動物看護師の役割を理解する。	
授業の到達目標	1. <u>法学総論</u> 1) 法の体系について理解する 2) 獣医療に関連する法規と愛玩動物看護師の関わりについて理解する 2. <u>愛玩動物看護師法</u> 1) 愛玩動物看護師法の目的・定義等について理解する（免許、試験、業務、罰則を含む。） 3. <u>獣医療関連行政法規</u> 1) 獣医師法の概要について理解する 2) 獣医療法の概要について理解する 4. <u>公衆衛生行政法規</u> 1) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の概要について理解する 2) 狂犬病予防法の概要について理解する 5. <u>薬事行政法規</u> 1) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の概要について理解する 2) 麻薬及び向精神薬取締法の概要について理解する 3) 毒物及び劇物取締法の概要について理解する	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻	
授業上の注意点	2級愛玩動物飼養管理士にて学習済みの内容は各自復習しておくこと。	
授業計画（内容）		コマ数
法の基礎知識 1. 法源 2. 実定法の分類 3. 「民事」と「刑事」と「行政」 4. 刑の種類		2
各分野・領域に関する法規 1. 各法規が対象とする動物種 2. 伴侶動物に関わる法規 3. 生産動物に関わる法規 4. 動物が関与するその他の法規		2
愛玩動物看護師法 1. 愛玩動物看護師法		2

獣医療関連行政法規 1. 獣医師法 2. 獣医療法	2
公衆衛生行政法規 1. 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法） 2. 狂犬病予防法 3. その他の関連する法律	3
薬事行政法規 1. 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（医薬品医療機器等法：薬機法） 2. その他の関連する法律	2
家畜衛生行政法規 1. 家畜伝染病予防法 2. その他の関連する法律	2
合計	15
授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物看護総合実習Ⅰ	
担当教員の実務経験	動物看護師	
対象学生	愛玩動物看護科 2年生	
授業時間数・単位数	30コマ ・ 2単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。	
授業の到達目標	動物看護業務を見学・体験理解する	
成績評価方法と基準	提出物、実習評価	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	動物看護実習テキスト	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
病院実習オリエンテーション、準備、復習		5
動物病院見学、実習		25
合計		30
授業単位数		2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物行動カウンセリング	
担当教員の実務経験	動物看護師 トリマー	
対象学生	愛玩動物看護科 2年生	
授業時間数・単位数	45コマ ・ 3単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	動物の飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する。	
授業の到達目標	動物の行動原理を理解しアドバイスすることができる。 原因の追究・適正な解決策を提示できるようになる。	
成績評価方法と基準	授業への姿勢、提出物、確認テスト	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物使用管理士、 愛玩動物看護師テキスト	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
学習理論の理解		4
ヒアリングと問題点の抽出		10
コミュニケーション技法		10
情報伝達		10
動物の行動学 ①実際に犬などと触れ合う中で、学習理論を体感する ②基本的なトレーニングを行う		5
グループ発表		6
合 計		45
授業単位数		3

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物内科看護学Ⅱ
担当教員の実務経験	動物看護師
対象学生	愛玩動物看護科 2年生
授業時間数・単位数	15コマ ・ 1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 []
授業の概要	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録等について理解する。
授業の到達目標	<u>輸液に関わる技術</u> 1) 輸液の適応とリスクについて理解する 2) 輸液計画について理解する 3) 各種輸液剤の特性や適応について理解する 4) 輸液中のモニタリングについて理解する <u>輸血に関わる技術</u> 1) 輸血の適応とリスクについて理解する 2) 輸血計画について理解する 3) クロスマッチ試験と血液型について理解する 4) 各種輸血製剤の適応や特性について理解する 5) 輸血に関わる手技について理解する 6) 輸血による副反応について理解する <u>心電図と血圧に関わる技術</u> 1) 心電図検査の目的と意義について理解する 2) 心電図検査の実施方法について理解する 3) 血圧測定の方法と意義、注意点について理解する <u>X線検査とCT/MRIに関わる技術</u> 1) X線検査の目的と意義について理解する 2) 放射線防護について理解する 3) X線検査の実施方法と撮影体位について理解する 4) 造影検査と透視検査について理解する 5) フィルムの現像とデジタルX線撮影について理解する 6) CT及びMRIの概要について理解する <u>超音波検査に関わる技術</u> 1) 超音波検査の目的と実施方法、保定体位について理解する 2) Bモード、Mモード、ドップラー法について理解する <u>内視鏡検査に関わる技術</u> 1) 内視鏡検査の目的と意義について理解する 2) 内視鏡検査の実施方法、準備事項について理解する 3) スコープの洗浄・消毒法について理解する <u>神経学的検査に関わる技術</u> 1) 姿勢反応と脊髄反射について理解する 2) 脳神経の検査法について理解する 3) 神経学的検査の評価記録法について理解する <u>眼科検査に関わる技術</u> 1) シルマー試験、フルオレセイン試験の方法と意義について理解する 2) 眼圧測定の方法と意義について理解する 3) 眼底検査の方法と意義について理解する <u>皮膚と耳の検査に関わる技術</u>

	1) 皮膚病変の観察と記録法について理解する 2) 皮膚掻爬試験、スタンプ検査、被毛検査、皮膚生検について理解する 3) ウッド灯検査と真菌培養法について理解する 4) 外耳道の検査方法と意義について理解する	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
輸血に関わる技術 1. 輸血とは 2. 輸血の適応 3. 輸血のリスク 4. 血液型と輸血 5. 輸血計画 6. 輸血の手順 7. 輸血後の血液検査		1
心電図と血圧に関わる技術 1. 心電計の分類と構造 2. 心電図検査の実際 3. 心電図の評価 4. 血圧測定法と血圧計の構造 5. 血圧測定の実際 6. 血圧の評価		2
X線検査に関わる技術 1. X線検査の目的と動物看護師の役割 2. 放射線とX線撮影の原理 3. 撮影条件とX線フィルム 4. 撮影体位と方法 5. 造影検査 6. フィルムの現像と読影準備 7. 透視撮影とコンピュータX線撮影法 8. 被曝と被曝管理		2
超音波検査に関わる技術 1. 超音波診断装置の原理と構造 2. 超音波検査の実際 3. 超音波検査でわかること 4. 超音波診断装置を用いた特殊な検査		1
内視鏡検査に関わる技術 1. 内視鏡の分類と構造 2. 消化器内視鏡検査の実際 3. スコープの洗浄と消毒 4. その他の内視鏡検査		1
その他の画像検査に関わる技術 1. コンピュータ断層撮影法（CT） 2. 磁気共鳴画像法（MRI） 3. 核医学検査		2
神経学的検査に関わる技術 1. 検査環境・必要な道具 2. 実際の検査方法		1
眼科検査に関わる技術 1. 視覚検査 2. 眼科神経学的検査 3. シルマー試験 4. 眼圧測定		2

5. 細隙灯顕微鏡検査 6. フルオレセイン染色 7. 眼底検査 8. その他の眼科検査	
皮膚と耳の検査に関わる技術 1. 皮膚科の検査 2. 耳介の検査 3. 耳道の検査	2
まとめ、確認テスト	1
合計	15
授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物内科看護学実習Ⅱ	
担当教員の実務経験	動物看護師、獣医師	
対象学生	愛玩動物看護科 2年生	
授業時間数・単位数	30コマ	2単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を習得する。	
授業の到達目標	<u>マイクロチップに関わる技術</u> 1) マイクロチップの適切な挿入部位について理解する 2) マイクロチップ装着手順を習得している <u>生体検査</u> 1) 心電図検査を実施し、結果を記録できる 2) X線撮影のための基本的な保定ができる 3) 放射線防護のための装備を正しく扱える 4) 超音波検査のための基本的な保定ができる 5) 神経学的検査の所見を記録できる 6) 眼科検査（シルマー試験、フルオレセイン試験、眼底検査など）の補助ができる 7) 皮膚検査（掻爬試験、スタンプ検査、被毛検査など）の補助ができる 8) 外耳道検査の補助ができる	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	動物看護実習テキスト	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
マイクロチップの装着		2
X線検査		4
超音波検査		4
心電図検査		4
皮膚検査と耳検査		5
神経学的検査		5
眼科検査		5
演習問題		1
合計		30
授業単位数		2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物繁殖学	
担当教員の実務経験	動物看護師、ブリーダー	
対象学生	愛玩動物看護科2年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 []	
授業の概要	繁殖に関わる形態と機能を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する。	
授業の到達目標	1. <u>生殖器の形態と機能</u> 1) 生殖器（雌・雄）の基本構造について理解する 2) 主要な性ホルモンの名称、産生部位及び標的器官について理解する 3) 雄の繁殖生理について理解する 4) 雌の繁殖生理について理解する 2. <u>性周期と交配</u> 1) 性成熟と発情徴候について理解する 2) 排卵（自然排卵・交尾排卵）の仕組みについて理解する 3) 性周期と腔細胞スメアの関係について理解する 4) 交配適期の決定法について理解する 3. <u>妊娠と分娩</u> 1) 着床・発生・妊娠・胎子の発育について理解する 2) 妊娠期間、偽妊娠について理解する 3) 分娩と助産、帝王切開について理解する 4) 去勢・不妊手術について理解する 5) 人工授精について理解する 4. <u>新生子管理</u> 1) 新生子のための飼養環境について理解する 2) 初乳の意義と哺乳について理解する 3) 新生子の発育過程について理解する 5. <u>遺伝学概論</u> 1) 遺伝のメカニズムについて理解する 2) さまざまな遺伝様式（顕性・潜性、伴性遺伝など）について理解する 3) 遺伝子疾患、発生異常について理解する	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書1巻	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
第1章 性と生殖 1. 生殖とその分類 2. 生殖器の基本的なしくみ 3. 生殖機能調節に関わるホルモン 4. 発情徴候と発情周期		10

5. 受精と妊娠 6. 分娩と助産、帝王切開 7. 遺伝子と器官発生 8. 去勢・不妊手術 9. 人工授精	
新生子管理 1. 新生子期とは 2. 新生子のための飼養環境 3. 新生子の解剖学的特徴 4. 新生子の生理的機能	4
演習問題	1
合計	15
授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物病理学
担当教員の実務経験	獣医師
対象学生	愛玩動物看護科2年生
授業時間数・単位数	15コマ ・ 1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 []
授業の概要	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する。
授業の到達目標	1. <u>動物病理学の基礎</u> 1) 病理解剖と病理組織学的検査の目的、意義について理解する 2) 病理組織標本の作製法について理解する 3) 病理組織学的検査の実施手順について理解する 2. <u>細胞や組織に生じる変化</u> 1) 変性と物質沈着について理解する 2) 壊死とアポトーシスについて理解する 3) 細胞増殖のメカニズム、再生と化生について理解する 4) 過形成と肥大について理解する 5) 低形成と萎縮について理解する 3. <u>循環障害</u> 1) 充血とうっ血について理解する 2) 出血の原因と病態について理解する 3) 血栓の成因について理解する 4) 虚血と梗塞について理解する 5) 浮腫と水腫について理解する 6) ショックの原因と分類、病態について理解する 7) 播種性血管内凝固（DIC）の病態について理解する 4. <u>炎症</u> 1) 炎症の定義と5大主徴について理解する 2) 炎症の分類と原因と特徴について理解する 3) 炎症に関与する細胞と化学伝達物質について理解する 4) 炎症の経過と治癒について理解する 5. <u>腫瘍</u> 1) 腫瘍の定義と分類について理解する 2) 腫瘍の原因と発生機序について理解する 3) 腫瘍と宿主の関係について理解する 4) 腫瘍の転移と進行について理解する 6. <u>先天異常</u> 1) 遺伝子・染色体異常について理解する 2) 発生異常と奇形について理解する
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。
準備学習・時間外学習	
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物看護師の教科書 第1巻

授業上の注意点		
	授業計画（内容）	コマ数
	動物病理学の基礎	2
	細胞や組織に生じる変化	3
	循環障害	2
	炎症	2
	腫瘍	4
	先天異常（奇形）	2
	合計	15
	授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物薬理学
担当教員の実務経験	獣医師 愛玩動物看護師 薬剤師
対象学生	愛玩動物看護科2年生
授業時間数・単位数	30コマ ・ 2単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []
授業の概要	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用及び副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。
授業の到達目標	<u>1. 動物薬理学の基礎</u> 1) 獣医臨床における薬物治療の概念と目的について理解する 2) 薬理作用とその発現機構について理解する 3) 薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）と半減期、耐性について理解する 4) 薬物間相互作用について理解する 5) 副作用と中毒について理解する <u>2. 愛玩動物看護師による薬物の取扱い</u> 1) 獣医師による投薬量計算について理解する 2) 各種投薬法（投与経路）を理解し、自宅での投薬を飼い主に指導できる 3) 薬物の適切な管理方法について理解する <u>3. 神経系に作用する薬物</u> 1) 全身麻酔薬と局所麻酔薬について理解する 2) 鎮痛薬について理解する 3) 運動神経系に作用する薬について理解する 4) 鎮静薬と抗けいれん薬について理解する 5) 問題行動の治療に用いられる薬について理解する <u>4. 呼吸器系に作用する薬物</u> 1) 呼吸興奮薬について理解する 2) 鎮咳薬について理解する 3) 気管支拡張薬について理解する <u>5. 循環器・泌尿器に作用する薬物</u> 1) 血管拡張薬（降圧薬）について理解する 2) 心不全治療薬（強心薬）について理解する 3) 抗不整脈薬について理解する 4) 利尿薬について理解する <u>6. 消化器に作用する薬物</u> 1) 制吐薬について理解する 2) 制酸薬と胃粘膜保護薬について理解する 3) 消化管運動調節薬について理解する 4) 止瀉薬について理解する 5) 瀉下薬について理解する 6) 肝疾患の治療に用いられる薬物について理解する 7) 膵酵素製剤について理解する <u>7. オータコイド、代謝・内分泌系の薬物</u> 1) 代表的なオータコイドについて理解する 2) 糖尿病治療薬について理解する 3) 甲状腺ホルモン製剤について理解する 4) ステロイドホルモン製剤について理解する <u>8. 血液・免疫系に作用する薬物</u>

	1) 抗貧血薬について理解する 2) 血液凝固抑制薬について理解する 3) 血液凝固促進薬（止血薬）について理解する 4) 非ステロイド系抗炎症薬（NSAIDs）について理解する 5) 免疫抑制薬について理解する 9. 感染症の治療、予防に用いられる薬物 1) 抗菌薬について理解する（作用機序による分類、抗菌スペクトルなど） 2) 抗真菌薬について理解する 3) 駆虫薬について理解する 4) 殺虫薬について理解する 5) 消毒薬について理解する 10. 悪性腫瘍の治療に用いられる薬物 1) 抗悪性腫瘍薬について理解する（作用機序による分類）	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物看護師の教科書 第3巻	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
動物薬理学の基礎		4
愛玩動物看護師による薬物の取り扱い		4
調剤法の基本		4
神経系に作用する薬物		4
呼吸器系に作用する薬物		2
循環器系および泌尿器系に作用する薬物		2
消化器系に作用する薬物		2
オータコイド、代謝・内分泌系の薬物		2
血液、免疫系に作用する薬物		2
化学療法剤		4
合計		30
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物臨床看護学各論Ⅰ	
担当教員の実務経験	動物看護師	
対象学生	愛玩動物看護科2年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。	
授業の到達目標	1. 徴候や疾患の理解と対処 1) 代表的な徴候や病態、疾患について理解する 2) 徴候の評価と記録法について理解する 3) 痛みの評価について理解する 4) 徴候・疾患に基づいた援助について理解する 2. 代表的な徴候 1) 全身徴候 食欲不振・廃絶、元気喪失、発熱、疼痛、消瘦 2) 特異的徴候 運動不耐、咳、心雑音、不整脈（房室ブロック、期外収縮、心房・心室細動）、高血圧、努力性呼吸、流涎、嘔吐、吐出、下痢、便秘、血便、黄疸、頻尿、血尿、多飲多尿、跛行、掻痒、発作、視力障害、難聴、眼振、斜頸、貧血、出血傾向 3) 特異的病態 尿毒症、肝性脳症、褥瘡、播種性血管内凝固（DIC）	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書9巻	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
代表的な徴候の理解と対処		15
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	比較動物学Ⅰ	
担当教員の実務経験	獣医師	
対象学生	愛玩動物看護科 2年生	
授業時間数・単位数	15コマ ・ 1単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 []	
授業の概要	飼養動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物の品種や飼養管理法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ。	
授業の到達目標	<u>動物の種類及び特性</u> 1) 愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物等の飼養動物と野生動物を比較しながら、その歴史、社会的位置づけ及び特徴について理解する <u>産業動物</u> 1) 家畜（馬・牛・めん羊・山羊・豚・鶏）の歴史と品種、特徴について理解する 2) 各家畜の消化器の形態と機能、食性について理解する 3) 各家畜の性周期と繁殖生理について理解する 4) 各家畜の飼養施設の概要について理解する 5) 各家畜の食性と飼養法について理解する	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
産業動物 1 牛 1. 歴 史 2. 特 性 3. 品 種 4. 解剖・生理 5. 飼養管理 6. 牛に多い疾病		2
2 馬 1. 歴 史 2. 馬の活用 3. 現在の飼育状況 4. 代表的な品種の特徴 5. 解剖・生理 6. 飼養管理 7. 馬に多い疾病		2
3 豚 1. 歴 史 2. 品種・特性 3. 解剖・生理 4. 飼養管理		2

5. 豚に多い疾病	
4 羊 1. 歴史、品種ごとの特性 2. 解剖・生理 3. 飼養管理 4. 羊に多い疾病	2
5 山羊 1. 歴 史 2. 品 種・特性 3. 生 理 4. 飼養管理 5. 山羊に多い疾病	2
6 鶏 1. 歴 史 2. 品 種 3. 解剖・生理 4. 飼養管理 5. 鶏に多い疾病	2
7 畜産業 1. 畜産業とは 2. 日本の畜産 3. 畜産業の地域による特徴 4. 畜産業の生産費の構成割合	3
合計	15
授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物臨床看護学総論	
担当教員の実務経験	動物看護師	
対象学生	愛玩動物看護科2年	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。	
授業の到達目標	1. 動物看護過程の展開 1) 動物看護過程の目的や意義、方法について理解する 2) 動物看護過程の各ステップについて理解する 3) アセスメントについて理解する 4) 事例ごとの個別性、情報の整理と解釈について理解する 5) 問題の明確化と動物看護計画の立案について理解する 6) 動物看護過程の実施と評価について理解する 2. 診療記録 1) 診療録（カルテ）の作成方法について理解する 2) 動物看護記録の目的や書式、事例に応じた作成法について理解する 3. 動物看護業務 1) チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割について理解する 2) ケアの標準化（クリティカルパス）について理解する 3) 事故管理、防止システムについて理解する 4) 若齢動物看護の特徴について理解する 5) 老齢動物看護の特徴や褥瘡について理解する 6) 家庭での継続看護を視野に入れた退院計画・指導について理解する 4. ターミナルケアに関わる技術 1) ターミナルケアの目的と意義について理解する 2) QOLやホスピス、緩和ケアについて理解する 3) グリーフケアについて理解する 4) 死亡した動物への対応とエンゼルケアについて理解する	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書9巻	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
動物臨床看護学を学ぶ上で必要な基礎知識		1
動物看護過程		2
診療記録		2
動物看護業務		10
4-1 健康期（若齢・老齢）の動物看護		
4-2 急性期の動物看護		
4-3 回復期の動物看護		

4-4	慢性期の動物看護	
4-5	終末期の動物看護（ターミナルケア）	
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物臨床検査学	
担当教員の実務経験	獣医師 動物看護師	
対象学生	愛玩動物看護科 2年生	
授業時間数・単位数	15コマ ・ 1単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方について理解する。	
授業の到達目標	1. <u>臨床検査の基礎</u> 1) 臨床検査における愛玩動物看護師の役割について理解する 2) 基準値、感度、特異度、精度管理について理解する 3) 検体採取法（血液、尿、便、粘膜、スワブ、体表組織など）について理解する 2. <u>血液検査</u> 1) 血漿、血清の分離法について理解する 2) 全血球計算法（CBC）について理解する 3) 血液塗抹の作製及び観察法について理解する 4) ヘマトクリット管を用いた検査について理解する 5) 凝固検査の目的と意義について理解する 6) 血液化学検査の目的と意義について理解する 7) 血液ガス検査の目的と意義について理解する 8) 免疫学的検査の目的と意義について理解する 3. <u>尿検査</u> 1) 尿の性状検査について理解する 2) 尿沈渣について理解する 4. <u>糞便検査</u> 1) 虫卵・原虫の検出法について理解する 2) 細菌の観察法について理解する 5. <u>細胞診と病理組織検査</u> 1) 細胞診断の目的と方法について理解する 2) 病理組織検査のための検体の取扱いについて理解する 6. <u>遺伝子検査</u> 1) 遺伝子検査の目的と応用例について理解する 2) 遺伝子検体の採取及び取扱いについて理解する	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
臨床検査の基礎 1. 臨床検査 2. 検査値の考え方 3. 主な検査機器		2

血液検査 1. 採血部位および採血方法 2. 血漿、血清の分離法 3. 全血球計算（CBC） 4. 血液塗抹標本の作製法と染色法 5. 血液塗抹標本の観察法 6. ヘマトクリット管を用いた検査 7. 凝固検査 8. 生化学検査＜総論＞ 9. 生化学検査＜各論＞ 10. 血液ガス分析 11. 免疫学的検査	5
尿検査 1. 尿検体の採取法 2. 尿検体の取り扱い 3. 検査手順 4. 尿沈渣標本に出現する有形成分	2
糞便検査 1. 糞便検査の目的と動物看護師の役割 2. 採便方法と観察 3. 寄生虫の検査 4. その他の微生物検査 5. 消化試験	2
細胞診検査と病理組織検査 1. 細胞診検査 2. 病理組織検査	2
遺伝子検査 1. 遺伝子検査とは 2. 検体の採取法と取り扱い 3. 遺伝子検査の対象疾患	2
合計	15
授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物臨床看護学実習	
担当教員の実務経験	動物看護師	
対象学生	愛玩動物看護科 2年生	
授業時間数・単位数	30コマ ・ 2単位	
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を習得する。	
授業の到達目標	1. 動物看護過程の実践（事例演習） 1) 事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 2) 看護動物の生活環境（家族を含む。）が健康に及ぼす影響を理解する 3) 症状や入院・治療が看護動物と家族に及ぼす影響を理解する 4) 看護動物の看護上の問題を理解し、優先順位を付けることができる 5) 看護動物の援助の内容・方法を立案できる 6) 動物看護計画を作成できる 7) 動物看護記録を作成できる 2. 入院及び栄養管理 1) 入院動物の管理、アセスメントができる 2) ケージの清掃、管理ができる 3) ペインスケールを用いて痛みの程度を評価できる 4) 栄養チューブ設置の準備や流動食の調製ができる 5) 褥瘡を持つ動物の看護（体位変換など）ができる	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	動物看護実習テキスト	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
看護過程の実践 1. 事例を通して動物看護アプローチの個別性を理解 2. 実習時に見学遭遇した事例で動物看護過程を展開 3. 動物生活環境が健康に及ぼす影響 4. 症状や入院・治療が動物と家族に及ぼす影響 5. 看護動物への関りの内容・方法を立案 6. 看護計画を作成 7. 看護記録を作成		15
入院及び栄養管理 1. 入院動物の管理、アセスメント 2. ケージの清掃、管理 3. ペインスケール 4. 栄養チューブ設置の準備や流動食の調整 5. 褥瘡看護		15

合計	30
授業単位数	2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	動物臨床検査学実習	
担当教員の実務経験	動物看護師	
対象学生	愛玩動物看護科 2年	
授業時間数・単位数	30コマ ・ 2単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	検体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を習得する。	
授業の到達目標	検体の採取・処理・検査ができる。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	動物看護実習テキスト	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
検体採取・処理の手順を習得している		3
マイクロピペットや遠心分離器を正しく操作できる		2
血漿、血清を分離できる		2
血液塗抹標本作製、染色できる		2
血液塗抹標本を観察し、白血球の百分比を算出できる		3
全血球計算及び血液化学検査を実施できる		2
簡易血清学的検査を実施できる		2
尿検査を実施し、物理化学性状を記録できる		2
尿沈渣を観察し、所見を記録できる		3
糞便検査を実施し、虫卵及び原虫を検出できる		3
細胞診の準備、補助ができる		6
合計		30
授業単位数		2